

2026年度 経営学部デュアルディグリー・プログラム履修の手引

<2028年度派遣者用>

I デュアルディグリー・プログラムとは

明治大学経営学部（以下、SBA）のデュアルディグリー・プログラム（以下、DDP）は、明治大学経営学部での2.5年間、ヴィクトリア大学グスタフソン・ビジネス学部（以下、UVic）での2.5年間、計5年間で日本の経営学士とカナダの商学士の2つの学位を取得できるプログラムです。学部間協定留学（1学期間または1年間）よりも長い期間にわたって海外の大学で学ぶことができ、ヴィクトリア大学在学中には、最長で約1年間の実務経験を積むことのできる有償インターンシップにも参加します。

このプログラムは2015年度入学者から開始したプログラムで、2017年度秋学期からUVicへの派遣を行っています。学部間協定留学とは異なり、派遣前に明治大学経営学部で修得しなければならない単位数や授業科目が定められています。DDPに参加し、2つの学位取得を目指したいと考えている人は、この手引を参考にできるだけ早い時期に詳細を確認し、必要な授業科目の履修や準備を計画的に行ってください。

なお、2027年度よりヴィクトリア大学においてカリキュラム変更が行われる予定となっており、2028年度派遣よりDDPへの申請要件が変更になります。2025年度以前入学で2027年度派遣に応募予定の学生は、別途掲載されている<2027年度派遣者用>の手引きをご確認ください。

<入学からデュアルディグリー取得まで>

・1年次～3年次春学期

SBAに入学し、日本で学びます。経営学の基礎や幅広い視野と教養を身につけながら、UVicへの入学に必要な所定の単位を修得します。この間にSBAで修得した単位は、一定の条件のもとでUVicにおいても認定されます。

(⇒ III参照)

・3年次秋学期～5年次

UVicの3年次に入学し、カナダで学びます。ビジネス科目で専門知識を身につけながら、夏休みや一部の学期を利用して有償インターンシップに参加します。また、4年次以降には、UVicの協定校に交換留学をするという選択肢もあります。(⇒ IV参照)

・デュアルディグリー取得

UVicの卒業要件を満たすと、カナダの商学士(Bachelor of Commerce)の学位が授与されます。UVicで修得した単位は、一定の条件のもとでSBAにおいても認定され、SBAの卒業要件を満たすと、日本の経営学士(Bachelor of Business Administration)の学位が授与されます。

II DDPへの申請要件 <2028年度派遣者用>

DDP参加の学内応募期限は派遣前年度（2年次）の9月中旬、UVic出願のための最終書類提出期限は1月末を予定しています。最終的には以下の要件を満たしていなければなりません。詳細な日程については追ってお知らせします。

- ・派遣前年度（2年次）の秋学期までに所定の授業科目60単位以上を修得しており（応募時は見込み）、そのうち直近60単位の評価の平均がB以上であること。入学要件で必修とされている各科目（マイクロ経済学、統計学、財務会計、経営学基礎）を2年次の春学期までに修得し、その評価の平均がB以上であること。（2年次秋学期修得見込みでも応募は可。）

- ・英語要件：TOEFL iBT 90点以上（かつ各セクション20点以上）、IELTS 6.5点以上（かつ各セクション6.0点以上）のいずれかを満たしていること。

※1・2年次履修において、できるだけ高いGPA(3.0以上)を維持するように努力してください。

III SBAでの授業科目の履修（1年次～3年次春学期）

DDPでは、UVic3年次への入学要件として、SBA 入学後の2年間で所定の60単位を修得することが求められます。UVic3年次に入学できた場合、SBAで修得した60単位はUVicの単位として認定されます。これらの単位のうち、ミクロ経済学3単位、統計学3単位、財務会計3単位、経営学基礎3単位は、DDP入学要件で必ず履修しなければなりません。

できる限り、2年次の春学期修了時点までにすべて修得できるように履修計画を立ててください。

1・2年次にはこれらの条件を満たすため、以下にしたがって授業科目を履修してください。なお、SBAの卒業要件を満たすため、1・2年次に修得しておくべき学部必修科目、外国語科目（必修科目）、体育実技はもちろんのこと、教養科目・学科基礎専門科目についても計画的な履修を心がけてください。3年次春学期開始時にはまだ派遣が確定していませんので、春・秋学期分の履修登録を行い、学科基礎専門科目・学科専門科目を履修してください。

1. 「ミクロ経済学」3単位

ミクロ経済学3単位については、以下のSBAの授業科目から3単位以上（2科目4単位以上）を履修してください。

<2026年度「ミクロ経済学」該当科目一覧>

履修開始年次	科目名	担当教員	開講期	キャンパス	単位数	科目区分	備考
1	近代経済学A	(指定クラス)	春学期	和泉	2	学部必修科目	(必修科目)
1	近代経済学B	(指定クラス)	秋学期	和泉	2	学部必修科目	(必修科目)

2. 「統計学」3単位

統計学3単位については、以下のSBAの授業科目から3単位以上（2科目4単位以上）を履修してください。

<2026年度「統計学」該当科目一覧>

履修開始年次	科目名	担当教員	開講期	キャンパス	単位数	科目区分	備考
1	統計学A	鶴田靖人	春学期	和泉	2	教養科目	線形回帰含む※
1	統計学B	鶴田靖人	秋学期	和泉	2	教養科目	線形回帰含む※

※UVicから入学要件として線形回帰(Linear Regression)に関する知識習得が求められています。

3. 「財務会計」3単位

財務会計3単位については、以下のSBAの授業科目から3単位以上（2科目4単位以上）を履修してください。

<2026年度「財務会計」該当科目一覧>

履修開始年次	科目名	担当教員	開講期	キャンパス	単位数	科目区分	備考
1	簿記論Ⅰ	(指定クラス)	春学期	和泉	2	学科基礎専門科目	
1	簿記論Ⅱ	(指定クラス)	秋学期	和泉	2	学科基礎専門科目	

4. 「経営学基礎」3単位

経営学基礎3単位については、以下のSBAの授業科目から3単位以上(2科目4単位以上)を履修してください。

<2026年度「経営学基礎」該当科目一覧>

履修開始年次	科目名	担当教員	開講期	キャンパス	単位数	科目区分	備考
1	経営総論	(指定クラス)	春学期	和泉	2	学部必修科目	(必修科目)
1	経営学	(指定クラス)	秋学期	和泉	2	学部必修科目	(必修科目)
2	Fundamentals of Management B	鷲見淳	秋学期	和泉	2	学科基礎専門科目	

5. その他の授業科目

上記1～4で履修した最低12単位を含む計16単位(4+4+4+4=16単位)については、すべてUVicの単位として認定されます。また、SBAの卒業要件を満たすため1・2年次に修得しなければならない単位のうち、外国語科目16単位と体育実技2単位の計18単位についても、すべてUVicの単位として認定されます。学部必修科目の残りの4単位(「会計学」「公共経営学」)についても必ず修得してください。ここまでで合計38単位が認定されます。

UVic3年次への入学には60単位以上が必要ですので、少なくともあと22単位(60-38=22単位)が必要です。1・2年次配当の教養科目、学科基礎専門科目、学科専門科目、その他の自由履修科目となる科目群から22単位以上を修得してください。

以上にしたがってSBAで1・2年次に修得した60単位は、UVicへの入学要件の1つを満たすことになり、さらに、入学後、同大学の学士課程における単位として認定されます。入学前の3年次春学期はSBAで学科基礎専門科目、学科専門科目を履修し、SBAの卒業に必要な単位数をできる限り充足するように努めてください。

<履修モデル>

科目区分	SBAの卒業に必要な最低修得単位数	SBAにおいて各学期に修得すべき単位数			UVicにおいて修得した単位の認定
		1年次(春・秋学期)	2年次(春・秋学期)	3年次(春学期)	
学部必修科目	12	12	—	—	—
教養科目	24	① 24			—
外国語科目	16	16			—
体育実技	2	2	—	—	—
学科基礎専門科目	14	② 14のうちできる限り修得			⑤ 認定可
学科専門科目	32	③ 32のうちできる限り修得			⑥ 認定可
自由履修科目	24	④ 24のうちできる限り修得			⑦ 認定可
計	124	最大40	最大40	最大22	最大60

(1) UVicへの入学に必要な所定の60単位を修得するため、教養科目、学科基礎専門科目、学科専門科目、自由履修科目(表中①、②、③、④)のいずれかにおいて、1・2年次に合計22単位以上を修得しなければなりません。

(2) 学科基礎専門科目については、最低修得単位数14単位のうち「簿記論I・II(計4単位)」を1年次に、残りの10単位のうちできる限り多くの単位を3年次春学期までに修得しておくことが推奨されます(表中②)。ただし、UVicにおいて修得した単位の一部は、SBAにおける学科基礎専門科目(経営学部設置科目への読み替えまたは「Overseas Exchange Subjects(Core Subjects)」)の単位として認定されます(表中⑤)。

- (3) 学科専門科目については、最低修得単位数 32 単位のうち、できる限り多くの単位を 3 年次春学期までに修得しておくことが推奨されます（表中③）。ただし、UVic において修得した単位の一部は、SBA における学科専門科目（経営学部設置科目への読み替えまたは「Overseas Exchange Subjects (Specialized Subjects)」）の単位として認定されます（表中⑥）。
- (4) 自由履修科目については、最低修得単位数 24 単位のうち、できる限り多くの単位を 3 年次春学期までに修得しておくことが推奨されます（表中④）。ただし、上記の方法で認定された単位のうち、当該科目区分の最低修得単位数を超えて修得した単位は、自由履修科目として卒業に必要な単位数に算入されます（表中⑦）。
- (5) 以上に加えて、UVic への入学要件として、所定の授業科目の単位修得が必要です。本手引の「Ⅲ SBA での授業科目の履修（1 年次～3 年次春学期）」1～4 を参照してください。

6. ISIBM について

ISIBM は UVic が主催する 3 週間の夏季海外研修プログラムです。UVic の教授陣による授業や現地の様子を伺い知ることができるため、DDP に応募したいと考えている人には参加を推奨します。修了者は SBA の単位として最大 6 単位が認定できます。

ただし、ISIBM の修了者がデュアルディグリーを取得する場合、ISIBM により修得した 6 単位と UVic 3-5 年次で修得する 60 単位、計 66 単位のうち、明治大学経営学部の単位として認定されるのは最大 60 単位までですので注意してください。また、ISIBM により修得した単位を UVic への入学に必要な所定の 60 単位に含めることはできません。

IV UVic での授業科目の履修（3 年次秋学期～5 年次）

※2027 年度カリキュラム変更後の情報です。詳細は、2026 年 6 月頃に開催予定の募集説明会で確認してください。

UVic に入学後、最初の 1.5 年間は以下の必修科目を中心に学びます。

Year 3 Fall Pre-requisites 科目群 (例)	Understanding World Class Organizations Intro to Organizational Behaviour Financial Accounting
Year 3 Spring Cohort Core 科目群 (例)	Financial Accounting Business Analytics Marketing Law and Ethics Organizations, Community, and Society I
Year 4 Fall Cohort Core 科目群 (例)	Management Finance Technology Management Operations Management International Business & Strategy Organizations, Community and Society II

4 年次以降、UVic において専門領域（①Entrepreneurship & Innovation、②Service Design, Marketing & Management、③Financial Management、④AI & Technology Management のいずれか）及び非専門領域の科目群を履修します。また、主専攻とは異なる分野を副専攻として学ぶことも可能です。UVic で修得した 60 単位は、SBA 設置科目への読み替え、または、「海外留学認定科目 (Overseas Exchange Subjects)」として、SBA においても単位認定されます。

UVic 入学後は、夏休みや一部の学期を利用して、最大 3 回の有償インターンシップに参加します。1～2 回の場合は就業体験プログラム (WEP) に、3 回の場合は Co-operative Education (Co-op) に分類されます。これらは在学中にフルタイムで給与を得ながら実務経験を積むことができる教育プログラムで、UVic を修了するための必須要件となっていますが、参加回数は学生が選択できるようになりました。3 回 (Co-op) を選択した場合、そのうち 1 回 (初

回分)は、入学前にビジネス関連分野で420時間相当の就労経験(有償労働に限る)を有していれば、これをもって代替することが可能です。Co-opの一部を入学前の就労経験により代替した場合、最短4.5年間(明治大学で2.5年+UVicで2年)でデュアルディグリーを取得することができます。

なお、4年次以降には専門領域の履修を1学期間、UVicの協定校(4ヶ国80以上の大学から選択)で行うことができ、UVicの協定校である明治大学に戻ってきて履修することも可能です。